

支援募金の協力に感謝!

わらしべの仲間・家族・職員が被災したと知った時、仲間たちの中から自分たちにもできることがないかと話しが出て、みんなで取り組み始めた「支援募金」でした。玄関に募金箱を設置して呼びかけました。わらしべ感謝祭や色々なイベントにも持参、協力をお願いしようと思っていたところ、コロナで日常が大きく変わり、取り組む機会もなくなってしまいました。それでも仲間たちや職員、関係者が募金してくれました。わらしべの自動販売機の売り上げ全額等、みんな合わせて「お見舞金」としてお渡ししました。

災害はいつどこで起きるかわかりません。日々の中で少しでも考える機会を増やしていきたいと思います。それでも何かあった時には、必ず多くの仲間や家族、関係者の方の応援があります。手を取り合って乗り越えていけると思います。

被災された皆さんも前を向いて進んでいます。

感謝の言葉

わらしべ職員 矢澤

前日より降り続く大雨・・・川の水がとても心配でした。まさか堤防が決壊するとは思っていませんでした。そして、周り一面ドロ水の中・・・水が引いた家の中は、タンスが倒れ、濡れた畳が机の上に。冷蔵庫が傾き先に進めず、何もかもがぐちゃぐちゃに・・・壁には床下1m90cm辺りに水位の後が残っていました。何から手を付けていいのかわからない状態でした。すぐにわらしべに「軽トラを貸して頂けますか?」と電話で連絡しました。快く車を貸していただき、ゴミとなった家財を処理場へ何度も往復して運びました・・・何度も・・・大変だったことを思い出します。皆さんからの励ましが本当に心強かったです。いろいろと大変お世話になりました。

そして、この度は思いがけない「お見舞い金」をいただきありがとうございました。

施設長からも募金の取り組みについて、最初に仲間の中から「声が上がったんだよ!」と伺いました。みんなの優しい思いと温かさがうれしく、心が涙でうるうるしました。

みなさんありがとうございました。代表して、ひと言お礼の気持ちを申し上げます。

研修を受けました

わらしべ職員 石川

令和元年 東日本台風から2年が経ちました。その時何が起きていたのか、今回復興フォーラムNAGANOという研修を受け改めて感じるがありました。

こういう災害のときに大切なのは、人と人との繋がりです。日頃から地域の方や家族・仲間との縁を大切に生活していきたいと思います。

日	月	火	水	木	金	土
27	28	1	2	3	4 八雲うどん販売 	5
6	7 技術学園パン販売 	8	9 コーヒーの日 	10	11	12
13	14	15 工賃支給日 	16	17	18	19
20	21 春分の日	22 コーヒーの日 	23	24	25 弁当の日 	26
27	28	29	30	31	1	2

- ・ 3月25日（金）は、年度末ということで、わらしべでお昼にお弁当を注文し、食べたいと思います。
詳細は後日連絡しますので、みなさん、ぜひ、年度末のお弁当と一緒に食べましょう！

2月の行事 例年通りではなかったけど～ みんな元気に過ごせますように！

コロナ禍で例年通りの福まき（お菓子の振る舞い）を断念しましたが、2月3日の節分には、仲間の年男さん年女さん4名に代表で豆まきをしてもらい、その様子を動画で見たり、節分の話や曲を聞きました。

コロナの状態を踏まえた中でささやかな開催にはなりましたが、節分といえは豆、大豆といえは豆腐、お豆腐といえは…わらしべの長者とうふ！！「年の数だけ長者とうふをたべよう」なんて冗談も出てきて楽しい福まきになりました。

